

2024年9月発行

茨木御堂
第297号



真宗大谷派

茨木別院

(輪番 河原 恵)

〒567-0817 茨木市別院町3-31
TEL (072) 622-2903
FAX (072) 625-9445

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

みんなに 原 恵 がかけてられている

プレミアムデイ



無碍の光明は

無明の闇を

破する恵日なり

(『真宗聖典』第二版一五九頁)

人が腹を立てたり欲を起こしたりするのは何故でしょうか。瞋恚や貪欲はどこからくるのでしょうか。

仏教は三悪道を説きます。地獄、餓鬼、畜生のことで。瞋恚、貪欲、愚痴の煩惱のことです。瞋恚は腹が立つということ。腹が立つと怒りの心がおなかの底から湧き上がってきます。貪欲は、欲が起こるといこと。欲を起こすと際限なくお金や物、地位が欲しくなります。この二つは、他者や外物との関係を通して私の中にあらわれます。

愚痴は、自分の都合の良いようにしたいという想いで。過ぎ去ったことを取り戻したいという想いと、未来のことに對して、何かを願ったり、悪いことが起こらないように祈ったりすることです。しかし、実際にそうなったからといって本当に幸せになるかどうかはわかりません。それでも人は自分を中心にしてしか生きることができないのです。生まれてから死ぬまで自分中心にしか生きられません。自分は正しいといつも思っています。人は間違っているとすぐ批判します。そして腹を立て、欲を起こし、愚痴を言います。その結果、職場や家庭がぎすぎすして、不平不満の毎日を送らざるをえません。自業自得です。そして何よりも、自分が自己中心の思いをもとに煩惱の生活を送っていること自体に気づいていないのです。これを無明と言います。自分を中心とした世界しか見えないのですが、それは本当の世界ではありません。阿弥陀如来の無碍の光明によって、無明の闇を破ってもらわないと本当の安らぎを感じることはできないのです。自我中心の思いを捨て、すべての人を救うという如来の本願に念い(おもい)を寄せて、同じいのちを朋に生きよとご苦労くださった阿弥陀仏のはたらきを讃嘆し、念うことではないかと思うのです。

南無阿弥陀仏 輪番 河原恵

茨木別院関連ホームページ

真宗教団連合ホームページ

茨木別院 ➔ ibarakibetsuin.or.jp

<http://www.shin.gr.jp/>

いばらき大谷学園 ➔ ibarakibetsuin.or.jp/kids/

真宗教団連合

検索

茨木別院 月行事ご案内

● 教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

・日時 五日(木) 午後一時半より

・講師 加藤恵師

● 本山九日講

・日時 九日(月) 午後二時より

・講師 茨木別院輪番

・会所 浄真寺

九月

● 秋季彼岸会 ―お勤めと法話―

・日時 十九日(木) / 二十日(金)

午後一時半より午後三時頃まで

・講師 茨木別院輪番

・会場 別院本堂

● 親鸞聖人ご命日・婦人会例会

・日時 二十八日(土) 午後一時半より

・講師 茨木別院輪番

● 教如上人ご命日・同朋会(どうぼうかい)

・日時 五日(土) 午後一時半より

・講師 加藤恵師

● 本山九日講

・日時 九日(水) 午後二時より

・講師 茨木別院輪番

・会所 光得寺

● 親鸞聖人ご命日・婦人会例会

・日時 二十八日(月) 午後一時半より

・講師 茨木別院輪番

● 教如上人御命日・同朋会

「歎異抄に学ぶ」

『歎異抄』をとおして、親鸞聖人の声に聴いていきましよう。

『歎異抄』を読む人のために

私たちは、(中略)この『歎異抄』を読むことをとおして、生きた親鸞聖人にお会いする道をおたたくことができます。

寺川俊昭師・『歎異抄』東本願寺出版より

茨木別院開創の教如上人の御命日を機縁とし、同朋会を下記の通り開催しています。現在『歎異抄』をテーマに共に学びを進めています。どなたでもお気軽に参加いただけます。有縁の方々のご参加をお待ちしております。

【参加無料】

◆ 日程…毎月五日・午後一時三〇分から午後三時頃まで ※一月五日は休会

◆ 会場…茨木別院会館 一階

◆ 講師…加藤恵師 教圓寺住職



園の子どもたちへ いばらき大谷学園



様々な変化に大人のほうがついていけないということもありますが、子どもたちはしっかりと大きくなっていますね。しっかりと見守っていききたいと思います。

こんにちは。いばらき大谷学園です。夏休みも終わり、いよいよ二学期が始まります。今年度は新しい取り組みを始めました。少しだけですが紹介させていただきます。

☆誕生会…今まで園内だけで行っていました。誕生児の保護者の方は参観できるようにしました。みんなで大きくなった姿を喜ぶのはもちろん、年長組の子どもたちは一人ずつ得意技を披露しています。逆上がり、前回り、描いた絵を発表したりと、様々な得意技に毎回大盛り上がりです。また保護者の方からおめでとうメッセージもいただいております。照れ笑いをする子どもたちにも嬉しくなっています。

☆食育の取り組み…幼児組は学年ごとに野菜を植えて育てています。年少組は枝豆など、年中組はオクラなど、年長組はミニトマトを植え、一学期中に収穫して食べることができました！給食で出た時は「これつくったやつ！」とおいしそうに食べていました。苦手な野菜でも自分が育てた！お友だちが作った！と思うだけで食べられるから不思議ですよ。

☆縦割り保育…この夏、幼児組は三歳から五歳を三クラスに分け、縦割りのクラスを作って過ごしてきました。見慣れない友だちにびっくりしていた子もいましたが、一緒に遊ぶ中で年下の子をひっぱって行く様子が見られたり、年上の子の真似をしてやってみようとがんばる姿が見られるようになりました。



遊びの大切さ

中野 靖恵

まだまだ暑い日が続きますが、暦では秋に入ります。スポーツ、食欲、芸術…秋に例えられる言葉はたくさんありますが、私が今年思い浮かぶ言葉は「スポーツの秋」です。

パリオリンピックでは暑い中選手の方々の努力に感動し、年長組のプレミアムデーのテーマもオリンピック、今後実施する作品展も、それに沿うようなテーマにする予定です。

園では月に数回、講師による体育指導があり、乳児組を始め全園児が楽しく体を動かします。例えば、逆上がりの導入では、逆上がりが苦手な子も楽しく挑戦する姿を見て「逆上がりができるのではなく、遊んでいて逆上がりができた！」という講師の教えを基に、改めて遊びの大切さを感じました。

大人になってから逆上がりをする機会がないので、子どもの時に逆上がりができなくてもいい、と耳にします。私もそう思います。ただ、この仕事に携わってから「先生逆上がりやって！」と園児からリクエストをもらいます。まさか大人になってから鉄棒をする機会があるとは思いませんでした。期待に満ちた眼差しの中、逆上がりをしたあとの称賛は何事にも代えがたい喜びです。

少しの遊びでも毎日の積み重ねが色々な経験に繋がります。

私たち保育者も、お子様の園生活においてたくさん「できた！」のお手伝いできれば幸いです。



法語カレンダー随想集

『今日のことば二〇二四』九月のことば

私はお寺の長男として生まれました。しかし、お寺のことばも仏教のことも全く分らないまま育ちました。高校の時、大学どこにしようか、そう考えていた時も、真宗系、仏教系の大学は全く選択肢に入りませんでした。そして、当時好きで興味のあった物理学を学びたい、そう思い物理学を学べる大学へ進学しました。大学では物理学を学ぶ楽しさにふれることができました。

しかし、どうも気にかかることがありました。それは、私が生まれ育ったお寺のことばでした。自分のことをふりかえると、お寺、そしてそこで私を育ててくれた家族が、いつも一緒にありました。そう考えた時、お寺の背景にある仏教を学んでみたい、そう思うようになったのです。そして、大谷大学の大学院へ進むことにしました。

私にとってそこでの学びはとても大切なものとなりました。特に、今でも記憶に残っていることがあります。ゼミの先生であった藤嶽明信先生に論文の相談に行った時、「内容はいい。けれど、まずあなたは救われたいのか」と言われたことです。私にとってその言葉はショックでした。なぜなら、それまで私がしてきた学びというのは、何かの対象について様々な手段で説明していくことばかりだったからです。そうした学び方ではなく、真宗の学びとは、まずここにある私がどうなのか、私という人間は何なのか、そのことに向き合っていくことなのだと教えられました。

その時は、私の学び方、もつと言えば人間性を全否定された気がしたのです。けれども、今思えば大学院に入った最初の段階で、学ぶ方向をもらった大切な言葉であったと思います。その後は、一緒に学ぶ仲間にも恵まれ、研究室や飲み会、様々な場をとおして議論しながら学びを深めることができました。

その後、大学院を修了し、東本願寺での数年の勤務を経て、自坊へと帰りました。今は、両親、妻、子ども二人と生活しています。その中で不思議に思うことがあります。それは、仏教にもお寺にも全く興味のなかった人間が、今お寺で法衣を着て法務をしているということなのです。それは、意思だけでは全くあり得ないことでしょう。たまたまお寺に生まれ、阿弥陀さんの前で手を合わせる人の姿を見て育ったこと、大谷大学へ行き学んだこと、その他、数限りない縁によって、私はここにあるのだと思います。

そう私に気づかせてくれたもの、それが念仏の教えなのだと思います。もし念仏の教えに出遇うことがなければ、今ここにいる私はないでしょう。そして、法務をする時も、家で妻や子どもたちと接する時も、いつも「それでいいのか」と、私自身が問われ続けている気がします。いつも自分を問いただるうと思います。それは、いつも私とは違った視点を与えてくれるものです。これからも、念仏の教えにたずねながら、生活するということを大切にしていきたいと思えます。

平 宣裕

〔茨木別院本堂諸殿修復計画〕

- ◆ 2018年 大阪北部地震・台風により被害



↑本堂 屋根



↑事務所



↑本堂

- ◆ 2022年9月 河原輪番就任
- ◆ 前輪番の修復計画を資金面、こども園の存続・維持運営を考慮し変更することが院議会で決定する
- ◆ 院議会、全体構想委員会で修復計画について審議を進めていく
- ◆ 金剛組、中島工務店、藤吉工務店の3社より本堂諸殿修復計画についてプレゼンテーションが行われた
- ◆ 審議の結果、院議会、全体構想委員会にて金剛組が本堂改修工事の業者に選定される
- ◆ 金剛組は本堂のみ工事を請け負うこととなり、素屋根を設けて本堂改修・瓦の葺き替え工事を行うことが提案される
- ◆ 諸殿(事務所、書院、御殿)の修復計画については、中島工務店、藤吉工務店から工事業者を選定することになる
- ◆ 中島工務店が諸殿修復工事を辞退したため藤吉工務店の提案を院議会、全体構想委員会にて審議していく
- ◆ 審議の結果、藤吉工務店が諸殿改修工事業者に選定される
- ◆ 現在、本山に本堂諸殿修復の工事計画について許可申請を行っている
- ◆ 2025年 本堂修復工事着工予定

→各社プレゼン
(金剛組・中島工務店・藤吉工務店)



→院議会での審議



→院議会への提案(藤吉工務店)



〈須弥壇納骨のご案内〉

本堂須弥壇(ご本尊)の下に納骨壇を設けております、たくさんの方に
ご利用いただけるようご案内いたします。

・冥加金(茨木別院門徒・ご崇敬内門徒)

一体 七万円

・その他

一体 十万円

真宗大谷派に所属する寺院・僧侶・門徒に限らせていただきます。

*納骨時の儀式執行は別院が執行します。

*申込みについては、事前に別院事務所までお問い合わせ下さい。

・お問い合わせ先…茨木別院事務所
☎〇七二一六二二一・二九〇三

〈別院墓地合祀墓のご案内〉

別院墓地敷地内にて合祀墓を設けております。個別での納骨も可能となっております。

ご利用をお考えの方は一度ご見学下さい。

敬 弔

ご生前のご遺徳を偲び、
謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

記

●法名 釋尼常和

俗名 前田 和恵 七十六歳

●法名 弘誓院釋淨太

俗名 山田 太郎 九十九歳

●法名 釋惠日

俗名 樋口 恵三 五十八歳

●法名 撰受院釋信重

俗名 津中 重夫 九十一歳

●法名 釋尼得證

俗名 川村 雪子 八十八歳

編集後記

大阪北部地震があったのが二〇一八年のことになります。約六年間という時間があっという間にたちました。院議員、全体構想委員のみなさんのご協力により、ついに修復に向けての動きが具体化してきました。

計画では本堂から順番に工事が進んでいくことになるようです。工事が始まると一年ほどは本堂でのお勤めができなくなります。工事が始まるまでに本堂であと何回法要が勤められるでしょうか。今月の秋季彼岸会は本堂でお勤めいたします。ぜひみなさんお参りいただければと思います。

竹内 明人

株式会社 花 廣

— 生花・供花・けいこ花 —
茨木市大手町一・二一八

☎(〇七二)六二二一・二四〇二